

科目名	音楽Ⅱ		学年	普通科			必/選	単位数
			2年	アドバンス	キャリア	スポーツ	選択	2
				国文				
				○				
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指します。							
使用教材	教科書： Tutti+（教育出版）							
評価	評価法	学習プリント、振り返りシート、筆記課題（鑑賞レポート、確認筆記テスト）、パフォーマンス課題（実技、創作、プレゼンテーション）、グループ課題への取り組みの様子などで評価します。						
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 				
		b	思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・題材	学習内容	評価方法			
					a	b	c	
1	4	2	ソルフェージュ（常時活動）	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なリズムや音を視唱、聴音し、パターンを覚えるとともに、基本的な楽譜の書き方を学ぶ。 ・沖縄音楽について、沖縄の文化やその歴史との関わりを理解し、そのよさや特徴を自ら味わって鑑賞する。 ・三線の成り立ちや歴史を学び、三線の音色に触れ、基本的な奏法を身につける。 ・「沖縄民謡」の演奏を通して、三線の奏法や表現技術を学ぶ。（独奏・歌唱） ・学んだ奏法を生かして、「島唄」などの曲を演奏、発表する。【ペア、グループ活動】 ・学習した内容についての確認をする。 ・言葉のリズムが生み出す特徴に関心を持ち、自分が表現したいイメージをもって、「リズム曲」を創作する。 ・創作作品を発表する。 	課題	実技	学習プリント	
		6	沖縄音楽について学ぼう					
	5	5	6		・沖縄音楽の歴史、特徴	実技	実技	行動観察
			6		・三線について			
		2	・三線の奏法					
	6	6	2		実技テスト	筆記	発表	課題進度
			6		筆記テスト			
6			「言葉」のリズムを考えよう	創作				
7	・リズム創作	発表	課題進度					

2	9	2	ソルフェージュ (常時活動)	・様々なリズムや音を視唱、聴音し、パターンを覚えるとともに、基本的な楽譜の書き方を学ぶ。	課題	課題	学習 プリント	
		4	コードで伴奏をしよう ・和音について ・ビートルズについて	・和音のしくみについて学び、基本的なコードネームを読んでピアノ伴奏をする。 ・ビートルズの作品における音楽の特徴と社会との関わりに関心を持ち、鑑賞する。 ・「Let it be」「童謡」に伴奏付けをする。	実技	実技 レポート	学習 プリント レポート 振り返り シート	
		8	・Let it be・童謡 ・選択曲 実技テスト 筆記テスト	・演奏したい曲を選択し、奏法の工夫をして伴奏をつけ、演奏発表する。 ・学習した内容についての確認をする。	実技 創作 実技 筆記 テスト	実技 創作 発表 筆記 テスト	学習 プリント 行動観察 課題進度	
		2	「アヴェ・マリア」を歌おう、聴き比べよう ・よりよい歌声のための練習曲	・個性豊かな歌唱表現を創意工夫するための発声技能を高める。 ・様々な「アヴェ・マリア」を聴き比べながら、楽曲の構造や形式について学び、感じ取ったことをもとに鑑賞レポートを作成する。	実技	実技 レポート	学習 プリント レポート 振り返り シート	
	11	4	・Ave Maria ・わらべ歌 発表会	・わらべ歌を用いたヴォイスアンサンブルの特徴を生かし、他者との調和と意識しながら、自分たちのイメージをもって歌唱表現を創意工夫し、演奏発表する。	実技	発表 グループ	行動観察 課題進度	
		4	発表会		実技			
	12	2	実技テスト 筆記テスト	【ペア、グループ活動】 ・学習した内容についての確認をする。	筆記 テスト	筆記 テスト		
		2						
	3	1	2	ソルフェージュ (常時活動)	・様々なリズムや音を視唱、聴音し、パターンを覚えるとともに、基本的な楽譜の書き方を学ぶ。	課題	課題	学習 プリント
			4	物語と音楽との関わりに注目しよう ・「キャッツ」	・オペラやミュージカルなどの総合芸術について学ぶ。 ・物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているかを考え、鑑賞レポートを作成する。		レポート	学習 プリント レポート
6			アンサンブルを楽しもう ・ボディパーカッション 発表会	・体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもって演奏する。 【全体・グループ活動】	実技	実技 発表	振り返り シート 行動観察 課題進度	
3		3	発表会 まとめテスト	・1年間で学習したことを確認する。	筆記 テスト	筆記 テスト		
		3						
		3						

担当者からのメッセージ（学習方法など）

- ・題材に対して毎時間真剣に全力で取り組みましょう。音楽は実技教科なので、各時間の積み重ねが大切です。
- ・合唱やアンサンブルではクラスで協力する姿勢を常に心がけましょう。クラスの和を乱すような行為（私語、怠学など）は、減点の対象となります。
- ・全ての活動に積極的に参加し、音楽を楽しみましょう！

※授業で取り上げる題材や内容は、進度や状況などにより、追加・変更する場合があります。

科目名	美術Ⅱ		学年	普通科			必/選	単位数
			2	アドバンス	キャリア	スポーツ	選択	2
				国文				
学 習 目 標	作品の制作や鑑賞を通して、美術の楽しさを学び、美術の文化を愛好する精神を身につけます。社会における美術の役割を理解することを目指します。							
使 用 教 材	教科書：「高校生の美術 2」（日本文教出版） 実習教材							
評 価	評価法	作品等、提出物のその人なりの完成度及び課題プリント、出席状況、授業態度等を総合的に評価します。						
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	形や色彩、材料、光などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを学び、理解する。				
		b	思考・判断・表現	自己や他者を見つめ感じ取った事や考えたこと、夢や想像などから主題を生成し、表現形式の特性を生かして構成する。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	主体的に表現の創造活動に取り組み、作品の造形的な良さや美しさを感じ取る鑑賞態度を学ぶ。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・題材	学習内容	評価方法			
					a	b	c	
1	4	1	オリエンテーション	・「表現とは何か」 ・ 自己紹介カード	提出作品	提出作品	学習プリント	
	5	10	デッサンからドライポイントへ	・体育館シューズ・ローファーシューズ等、身近なものに興味関心を持ち、深く観察し、最後まで諦めることなく描写する。 ・落ち着いて作業できる態度を身につける。			課題進捗	
	6	3	鑑賞（映像教材）	歴史的な作品を、映像教材で鑑賞する。作品を鑑賞して感じたことを文章にする。			行動観察	
	7	2					観察	
2	9	12	版画	・ドライポイントの技法とその特性を理解し、デッサンをもとに、その効果を活かして制作する。 ・生活の中のデザインの役割や、機能と美しさの関係について学ぶ。 ・木材の性質を知り、安全に配慮し、目的に応じた用具の使い方を学ぶ。	提出作品	提出作品	学習プリント	
	10	14	木彫				行動観察	
	11	ペン皿&ペーパーナイフのデザイン					課題進捗	
	12		2				鑑賞	
3	1	10	映像メディア表現	・コマ撮りアニメーションの技法を用いて表現する。 ・どのように撮影すれば、動きや変化を効果的に見せることができるかを考えて制作する。	提出作品	提出作品	学習プリント	
	2	アニメーションをつくる	行動観察					
	3		鑑賞（映像教材）					
	2							
担当者からのメッセージ（学習方法など）								
<p>課題の説明を聴いて、その意図と内容を理解し、目標に沿って課題を完成させます。 毎時間の制作の積み重ねが評価の対象となりますので真剣に取り組んでください。 私語、怠学は減点の対象となります。 ※授業で取り上げる題材や内容は、進捗や状況などにより、追加・変更する場合があります</p>								

科目名	書道Ⅱ		学年	普通科			必/選	単位数
			2	アドバンス	キャリア	スポーツ	選	2
				国文				
				○				
学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方、考え方を働かせ生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。							
使用教材	教科書：『書道Ⅱ』（東京書籍）							
評価	評価法	提出作品、学習過程（活動の様子）、学習のまとめ（ワークシート・作品解説シート）の内容、用具・用材の扱いや主体的に学習に取り組む態度も含めて総合的に評価します。						
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。				
		b	思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。								
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法			
					a	b	c	
1	4	8	漢字の書 篆書の学習 【臨書】	篆書の特徴を理解する。 古典の臨書を通して、篆書の用筆・運筆・結構法を習得して表現力を高める。	提出作品	提出作品	活動の様子	
	5	10	隸書の学習 【臨書】【創作】	隸書の特徴を理解する。 古典の臨書を通して、隸書の用筆・運筆・結構法を習得して表現力を高める。				
	6 7	8	草書の学習 【臨書】	草書の特徴を理解する。 古典の臨書を通して、草書の点画や線質の特徴、用筆・運筆の技法を理解する。				
2	9 10	14	仮名の学習 【臨書・鑑賞】	仮名の成立過程及び仮名の種類について理解する。 用具・用材・姿勢・執筆などの基本的な事項を身につける。 仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解する。	提出作品	提出作品	活動の様子	
	11 12	14	漢字仮名交じり書	縦書き・横書き等による字形・文字の大きさや全体構成を工夫する。 墨色・墨量の違いによる変化 運筆のリズムや筆圧の変化による自分の意図に合った表現をする				
3	1 2	16	扇子の制作 【創作】	用具・用材と表現との関わりについて理解し、目的に応じた効果的な表現をする。 創作することの楽しさ充実感を味わう。	まとめシート 提出作品	まとめシート 提出作品	活動の様子	
	3		篆刻の学習 いろいろな印	印の役割・用法を理解する。				
	担当者からのメッセージ（学習方法など）							
目的や用途、表現形式に応じた作品制作について紹介します。単元ごとに評価ポイントを示しますので、ポイントを押さえた提出物を作成してください。毎時間、真面目な態度で取り組んでください。怠学は、減点の対象となります。								